

発言No.

20

受付No.

7

令和 3 年 11 月 18 日
11 時 39 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名牛尾昭

答弁を求める者

(○をつける)

○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 水産業振興について

①新聞によると、知事が、JF に対して、解散命令を出すとするが、今日まで、内部の問題として静観していたが、おだやかではない状況のようである。この現状についての市長の見解を問う。② 現在、底引き網漁船専用の4号市場が整備されつつある。岸壁は、県の支援で整備され、本体工事には、多額の国費が投入される。総合計画には、現在の船団を守ると書き込むであるが、具体的な計画は示されていない。各船団とも、老朽化が進んでおり、新船建造やそれに準ずる船舶を用意出来なければ継続は危うい。7号市場、4号市場完成という、エビデンスからの政策立案の考え方を問う。

③ 11月17日から、底引き網連合会提供ののどぐろ給食が、^{茨城}東中学からスタートした。快挙である。今回の施政方針で18歳までの、医療費免除が提案された。そのことは、一定の評価はするが、子供達に喜んで貰うためには、ふるさと教育、食育として、のどぐろやアジなどの、1級の地元食材を提供すべきと思うが見解を問う。

④ガソリンや灯油、軽油の値上がりが激しい。国が動きそうであるが、連携して、運送業者、高齢者福祉施設、漁船漁業の支援策が必要ではないか問う。

2. 高齢者に優しいまちづくりについて

選挙前や選挙後を通じて、多くの市民から、訴えがあったのは、高齢者にもっと優しくして欲しいという事であった。具体的には、福祉乗車券をもっと買いたい。でなければ、買い物に行けない。免許証を返すと、ここでは、生きていけない。バス路線が、実態に合っていない。などである。そこでまず、お伺いしますが、①福祉乗車券の増額の可能性を問う。②次に、運送業者にも負担を仰ぎ、増額の可能性を問う。